

2013 年度大統領予算教書、連邦研究費は前年度比 1%増を要求 (2 月 13 日)

バラク・オバマ大統領 (Barack Obama) は、連邦議会に 2013 年度大統領予算教書を提出した。これによれば、エネルギー省 (Department of Energy) の予算は、2012 年度歳出法で割り当てられた 49 億ドルからは 2.4%増の 50 億ドルとなっている。また、国立科学財団 (National Science Foundation : NSF) の予算は 2012 年度歳出法比 5%増の 73 億 7,000 万ドル、国立標準技術局 (National Institute of Standards and Technology : NIST) 予算は 13%増の 8 億 6,000 万ドルとなっている。ただし 2013 年度大統領予算教書で要求されている連邦研究予算総額は、2012 年度歳出法割当に比べて 1%の増加に留まる 1,400 億ドルで、基礎研究予算も同じく 1%増の 300 億ドルと、微増に留まっている。さらに 2013 年度大統領予算教書を 2012 年度のそれにおける要求額と比較した場合、2012 年度では連邦研究予算には 1,480 億ドル、そのうち基礎研究費には 330 億ドルが要求されており、今年度の大統領予算教書におけるこれら項目の予算要求額は減少となっている。

なお、2013 年度大統領予算教書の概要は
<<http://www.whitehouse.gov/omb/budget>>から参照可能。

Science Insider, *Obama Budget Asks for 1% Boost in Research*

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2012/02/obama-budget-asks-for-1-boost-in.html>